

令和2年度 学校法人東大寺学園 事業報告

1. 法人の概要

- ・ 設置する学校
幼稚園・中学校・高等学校
- ・ 当該学校の入学定員・学生数の状況

	定員	令和2年5月1日生徒数
幼稚園	160名	108名
中学校	564名	537名
高等学校	705名	645名

- ・ 役員・教職員の概要

○ 令和2年度理事会

理事長	北河原 公敬	東大寺長老
常任理事	上野 周真	東大寺真言院住職
理事	内田 恒	東大寺学園事務局長
〃	喜多 恒雄	日本経済新聞社 代表取締役会長
〃	佐保山 暁祥	東大寺宝珠院住職
〃	筒井 英賢	東大寺龍松院住職
〃	西口 廣宗	元南都銀行 頭取
〃	森 宏志	東大寺学園中・高等学校長
〃	森 雅彦	DMG 森精機株式会社 取締役社長
〃	森本 俊一	三和澱粉工業株式会社 取締役会長
〃	安本 幸泰	近鉄グループホールディングス株式会社 代表取締役副社長
〃	矢和多 忠一	前東大寺学園中・高等学校長
監事	鷺尾 隆元	東大寺地藏院住職
〃	平岡 慎紹	東大寺上ノ坊住職

○ 職員

中学校・高等学校教職員

	校長	教頭	教諭	養護教諭 講師	常勤講師	非常勤講師	図書館 司書	外国人 金銭講師	実習助手	事務局長	事務長	事務次長	事務職員	嘱託 校務員	兼務職員	計	校医・ 薬剤師
男	1	2	49		8	8		2	1	1	1	2	1	1	77	3	
女			4	1	1	4		2					3		5	20	1
計	1	2	53	1	9	12		4	1	1	1	5	1	6	97	4	

幼稚園教職員

園長	副園長	主任	教諭	補教	事務	兼務職員	計	園務員	園医
1	1	1	7	4	1	3	18	3	3

2. 事業の概要

東大寺学園中・高等学校事業計画

I. 指針

1. 学園経営の効率化に努め、健全な財政運営を維持しつつ、安全で快適な学校環境の充実に努める。
2. 基本的な生活習慣・学習習慣の定着を軸として、心身ともに健全な生徒の育成に努める。

II. 重点目標と事業計画

1. 個としてのアイデンティティの確立・基本的生活習慣の定着
生徒が主体的に取り組む諸活動を企画・実践し、その取り組みを通じて、生徒が進取的精神を養い、自立心や創造力を育むこと、協働への意識を高めることを目指す。また、遅刻の防止、登下校の通学マナーやゴミの分別等、日常生活に関する生徒指導を徹底することで、生徒の規範意識の向上にも努める。
 2. 基礎学力の習得と体力持久力の向上
高等教育を受ける素地として、生徒全員が基礎学力を十分に習得するよう指導する。特に低学年において、学習意欲を高めるよう配慮する。あわせて、学習活動が知識の集積にとどまるのではなく、知識を機能的に活用する力に繋がるよう留意する。また、授業・行事・部活動をはじめ体育的諸活動を充実させ、体力・持久力の向上を図る。
 3. 高校募集停止・中高完全一貫教育に向けて
中・高完全一貫教育への移行にともない、能動的学修の定着に向け、合理的なカリキュラムを整備する。あわせて、生徒一人ひとりに寄り添う、より細やかな教育の実践を目指す。
 4. 情操教育及び共生教育の充実
中学における「東大寺学」の学習を通じて、生徒が東大寺に親しみ、東大寺創建の精神に触れ、より情操豊かになることを目指す。あわせて中高6年間の人権教育計画に基づき、共に生きるという社会観・人権尊重の精神を育む。
 5. 生徒の自主・自発の活動の育成
教科外の諸活動・部活動の一層の充実を図るとともに、生徒一人一人の自主的・自発的な活動を奨励・支援する。
 6. 社会的関心の喚起・視野の拡大
幅広い視点から講演、芸術鑑賞等を企画、実施する。また、海外短期留学制度等を通じて、グローバルな関心・視野も生徒に意識させたい。
 7. キャリア教育の充実と高3生の進路保障
生徒の進路決定に資するため、校外における高大連携事業への参加、さまざまなジャンルで活躍する卒業生を招いての講演会の開催等を積極的に進める。また、高校卒業生が所期の目標を達成できるよう、必要にして充分な指導計画を立て、学力の伸長に努める。
 8. PTA活動のさらなる充実
保護者との信頼関係を維持・強化するとともに、保護者自身の自己啓発に資する方向で、研修を含めた活動計画を企画・実施する。
 9. 生徒募集の拡充
学園の教育内容の充実が基本であるが、あわせて、学園の公開見学会、学園行事、校外での相談会・講演会を通じて学園の方針・校風の広報を一層充実する。
 10. 教職員研修の充実
本校の教育課題に沿う校内研修会を企画し、研修機会の充実を図るとともに、校外での研修会や研究会への参加も奨励する。また、引き続き、公立校等との人事交流等にも取り組みたい。
 11. 学校評価の継続実施
教育活動を不断に見直し、その成果や課題を明らかにし、教育活動の一層の充実に資するため、学校評価の充実を図る。
- III 今年度の主な工事
- 手洗い場増設、警備員室設置

令和2年度 年間行事(中学校・高等学校)

*印はPTA行事、—は中止

4月	<p>上旬 高1編入生補習授業→ 一部実施 始業式・入学式(中学・高校)— 新入生オリエンテーション</p> <p>中旬 心電図→7月延期 身体計測・体力測定 スポーツテスト 学年保護者会</p> <p>下旬 内科・歯科一斉検診→6月延期</p>	10月	<p>上旬 生徒会役員選挙(後期) *第2回 雑華の会</p> <p>中旬 中学体育大会</p> <p>下旬 中間試験 中学・高校入試説明会 高1保護者会(金鐘ホール) *菁々会秋の遠足 中2研修旅行(九州)—→R3.5月再延期</p>
5月	<p>上旬 教科外活動 聖武祭(2日) 創立記念日(4日) 生徒会役員選挙(前期)—→7月延期</p> <p>中旬 *菁々会総会 奈良市民体育大会 検尿→9月延期</p> <p>下旬 中間試験 避難訓練→9月延期 中2研修旅行(九州)—→10月延期</p>	11月	<p>上旬 教科外活動 中2東大寺学(稲刈り)—</p> <p>中旬 中学・高校入試説明会 球技大会 進路講演会(高1) *東菁会総会(大阪)—</p> <p>上旬~中旬 進路講演会(高1)</p> <p>上旬~下旬 学年保護者会</p>
6月	<p>上旬 中3・高1芸術鑑賞 中2東大寺学(田植え)— *第1回 雑華の会</p> <p>中旬 奈良市中学総合体育大会 X線間接(高1)—→9月延期 中2芸術鑑賞 内科・歯科一斉検診</p> <p>下旬 高2期末試験→8月延期 球技大会 *父親を中心とする会</p>	12月	<p>上旬 期末試験 高2修学旅行(九州)</p> <p>中旬 個人懇談会 終業式</p> <p>下旬 補習授業 高1スキー研修(志賀高原)—</p> <p>上旬~中旬 中学願書受付</p>
7月	<p>上旬 期末試験→7月下旬延期 高2修学旅行(ベトナム)— →12月延期(九州へ方面変更)</p> <p>中1・高1心電図 中1保護者会(金鐘ホール) 生徒会役員選挙(前期)</p> <p>中旬 *東大寺写経の会 個人懇談→8月延期 終業式</p> <p>下旬 期末試験 補習授業 高1夏山登山(槍ヶ岳)—</p>	1月	<p>上旬 補習授業 始業式 実力・課題テスト</p> <p>中旬 高3特別授業(二次対策) 中学入学試験</p> <p>下旬 高3学年保護者会→WEB開催 進路講演会(高1)→WEB開催 中学百人一首大会 中学入学予定者説明会(第1回) *菁々会修二会講演会 中学内科検診 中学入試追試験</p> <p>上旬~中旬 高校願書受付</p>
8月	<p>上旬 学校見学会(中学生対象) 近畿中学校総合体育大会 個人懇談</p> <p>中旬~下旬 中1~高2午前中授業・高3補習授業 学校見学会(小学生対象)</p>	2月	<p>上旬 高校入学試験</p> <p>中旬 高校卒業式 高校入学予定者説明会(第1回) 中学長距離走大会</p>
9月	<p>上旬 始業式 実力・課題テスト</p> <p>中旬 菁々祭(文化祭) X線間接(高1) 高2芸術鑑賞</p> <p>下旬 避難訓練・検尿 奈良県高等学校総合体育大会 中1宿泊研修(近江八幡)—</p>	3月	<p>上旬 学年末試験</p> <p>中旬 個人懇談会 終業式 中学卒業式</p> <p>下旬 中学・高校入学予定者説明会(第2回) 中3スキー研修(志賀高原)— 補習授業</p>

令和2年度 東大寺学園幼稚園事業報告

■ 教育方針

本園は東大寺境内、大仏殿西に位置し、1250年の歴史を刻んだ場所にある。歴史的建造物や豊かな緑に囲まれた素晴らしい環境を活かし、四季おりおりの伝統行事にふれながら、幼児期にふさわしい体力、知力、情操を養う。

東大寺創建の精神にもとづき、ひとりひとりの人格を尊重し、みんなと力をあわせて努力する喜びを知り、遊びを通じて創造性と人間性豊かな心身を育成する。

■ 重点目標と事業計画

1. 基本的生活習慣の確立

毎日の“挨拶”を自分から進んでできるように指導する。また、自分の身の回りのことを自分でできるようにするとともに、当番活動など周りの人に対して力を発揮する場面をつくり、人のために動く心地よさを味わえるようにする。特別な支援を必要とする園児に対しても互いの個性を受け入れることのできる豊かな心情を養う。

2. 保育内容の充実

昨年度までに精査した教育計画を実行し、保育の充実を図る。広い園庭やホール、周辺の自然など豊かな環境を生かして遊びを充実させ、体全体を十分に動かす遊びを通して体力づくりに重点を置いた保育を継続する。また、自分に自信をもち責任ある行動がとれるような生活を保育の中に取り入れるとともに、自分の思いを周りの人に伝えることのできる機会を大切に、自分の意見を自分の言葉で発信すると同時に、人の話も関心をもって聞ける子どもを育てる。

3. 東大寺学園幼稚園ならではの特色ある保育

当園ならではの特色を生かした保育を大切にする。田植えや稲刈りを通じ、学園中学生との交流を行う。また、療育病院の子どもたちと触れ合う機会を持ち、いろいろな人とかかわる経験をさせる。

毎月の大仏殿参拝をはじめ、聖武祭等の行事への参加、大仏殿周辺を走るマラソンコース、自然観察会、奈良公園の散策など周辺の環境を生かした保育を継続する。

外部講師による茶道、英語(令和2年度より外国人講師になる)を保育に位置づけ、多様な先生と信頼関係をもち豊かな経験ができるようにする。指導の内容について担任教師と意見を交わす時間を取り、毎日の保育との連携を図る。

4. 地域に認められる園運営

2歳児保育については、保育内容を検証しながら継続する。乳幼児を持つ保護者の子育て不安を軽減するとともに、園にとっても園児確保に繋がるものとして、昨年度より始めた月2回の「親子の広場のんのん」は、少しずつ周知されてきた。親のニーズに応えられるように次年度も遊び場を充実していき、今後の園児確保に繋がることを期待したい。

周辺地域では幼児の減少傾向が続いているので、発信できる機会を逃さず、広く地域や未就園児親子への働きかけを行うようにする。多くの幼児に応募してもらうためには、日々の保育の充実と保護者からの信頼が重要であると考え、長期休業中の預かり保育を充実させることと合わせ、在園児の保護者に対して幼稚園の教育を理解してもらい園児の成長を共有することで満足感を持ってもらえるようにしたい。

教育実習生や中学生の体験を受け入れたり、地域と連携した活動に積極的に参加したりして、園児に多様な経験をさせるだけでなく、地域に幼稚園の存在を周知してもらえよう広報に力を入れる。

5. 保育料と設備

保育料無償化が実現したため、保護者には負担が少なくなっていると思われる。

現在使用している照明設備は園舎建設から20年以上経過し老朽化してきているため、修理の必要が増え、維持経費もかかるようになっている。LEDへの転換を2・3年後に図りたいと考えている。また、コロナ禍の影響で研修会や講演会などがリモート(web・zoom会議)で行われることが多くなっている為、できれば、令和4年度くらいにネット環境を整えていきたい。

令和2年度実施行事

4月	始業式 入園式(3部完全入れ替え制) 新型コロナウイルス感染防止のための休園措置 母親が就労している園児のみ預かり保育実施
5月	新型コロナウイルス感染防止のための休園措置 母親が就労している園児のみ預かり保育実施
6月	保育再開(分散登園12日まで) 15日～全園児登園開始 未就園児教室 おはなまつり(園児のみ、学年別) 内科・歯科検診 検尿検査 新入園児説明会
7月	水生生物観察会(雨で中止) 眼科検診 地蔵祭り(雨でホール・3部完全入れ替え制・園児のみ・年長児は参観) 終業式 夏休み お楽しみ会(年長児・13:00～19:00) 夏季休業中預かり保育
8月	夏休み 夏季休業中預かり保育 登園日
9月	始業式 入園選考 2歳児保育開始 教育実習生
10月	運動会(平日3日間・学年ごとに実施・縮小・保護者の人数制限あり) 大仏秋の祭り(年長児、稚児行列に参加) 地震避難訓練 親子遠足(若草山・奈良公園)
11月	こどもまつり(園児のみ・ホールで育友会と阿吽の会主催のゲームに参加) 作品展(保護者の人数制限あり) 秋の自然観察会(年長児) 2歳児説明会
12月	2歳児願書受付 成道会(2部完全入れ替え制・年長児は参観) 個人懇談 クリスマス会(3部完全入れ替え制) 冬休み
1月	英語参観(日をずらして2週にわたって実施・保護者の人数制限あり) 新入園児説明会・未就園児教室(日をずらして2週にわたって実施) 火災避難訓練
2月	豆まき 入園説明会・未就園児教室(日をずらして2週にわたって実施) 生活発表会(3部完全入れ替え制・保護者の人数制限あり) 人形劇鑑賞(2部完全入れ替え制)
3月	ひな祭り 運動参観(年長児) お茶参観(年長児) 二月堂参拝・だったん帽(自由参加) 卒園式 終業式

- ※ 毎月身体測定(身長・体重測定)実施
- ※ 毎月1回大仏殿参拝(12月より開始)
- ※ 週1回英語の時間(6月より開始)、月1回お茶の指導(9月より開始年少児10月以降)
- ※ 毎月未就園児教室開催(6月、9月入園選考、1月、2月)
- ※ 月2回水曜日10:00～11:00に親子の広場「のんのん」中止
- ※ 毎週水曜日午後1:30～15:30、地域の幼児向け園庭開放 中止

○東大寺・学園との交流

- ・中学生との田植え・稲刈りの交流 中止
- ・東大寺福祉療育病院との交流会 中止
- ・保護者向け ホタル観賞会・お松明見学中止

○預かり保育について

- ・年間通常182日、延べ1784人、(含:長期休業中21日、延べ336名)(前年度152日、延べ1626人)の園児の預かり保育を実施した。夏休み、冬休みの長期休業中の預かり保育の日数を増やした。仕事を持つ母親も増え、充実した生活を送ることができると好評だった。
- ・預かり保育の実施により、奈良県と奈良市から補助金を得ることができた。
- ・コロナ禍の休園中も母親が就労の園児のみ預かりを毎日実施した。

○2歳児保育の実施

- ・昨年度に続き、月木、火金の週2回で2グループ各10名の2歳児保育を実施した。内18名が翌年、3歳保育児として当園に入園した。

○園児の確保

- ・昨年度から実施した「遊びの広場ののんのん」は、コロナへの危惧により実施できなかった。にもかかわらず、例年どおりの人数は確保することができた。新入園児見学説明会のほか、保護者の希望に合わせて、いつでも見学・説明会を行った。

・見やすい幼稚園案内、2歳児保育の案内を作成し、機会を逃さずに広報できる場を活用するとともに早い時期から広報を始めるように努めた。

○地域との連携・広報活動

- ・「奈良県童話連盟お話の会」の協力を得て毎月1回、各クラスで実施（全園児対象）
- ・千僧法要式典に年長児が参加（4/26）中止
- ・岡田由美子氏との共演で「ミュージックフェスト奈良2020」への参加 5/22 中止
- ・教育実習生3校8名を受け入れる(9月以降)
- ・大阪動植物海洋専門学校講師、谷幸三氏による「自然観察会」の実施 11/26
- ・中学生の職場体験(12月) 中止
- ・「奈良マラソン2020」の応援鼓隊演奏 12/13 中止
- ・幼稚園ホームページの点検・見直し
- ・新聞掲載・放送・・・奈良新聞、

○コロナ関係

- ・4月5月が休園措置となり、職員は各行事の見直しと代替えを考慮・計画したり、コロナウィルス感染症拡大防止をしながらの保育の仕方を検討した。
- 6月の保育再開時から今も、教職員と園児の手洗い・消毒の徹底、毎朝の検温カードの確認、保育室の換気、昼食時の机の消毒とパーテーションの設置など、十分に配慮している。また、園児降園後は、おもちゃ・ロッカー・机・パーテーション・椅子・水道・トイレ・ドアなどの共有部分の消毒を毎日欠かさず行っている。

今年度の主な工事

特になし

当該計画の進捗状況等

各項目とも順調に進めることができた。

3. 財務の概要

財務諸表（経年比）を別紙添付